

令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	2	教科書	精選現代文B (東京書籍)		
副教材等	精選現代文B学習課題ノート (東京書籍)				

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。 2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。
学習の方法	・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。 ・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1学期 中間	評論1 世界をつくり替えるために	・世界と自分との間に越えがたいずれを感じるものが、あらゆる未来の「種」をあみ出す起点となることについて学びます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論1 ミロのヴィーナス	・鋭い感性と巧みなレトリックによって書かれた文章を読みます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	◎	-	-	○
1学期 末	小説1 山月記	・小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物についての的確に捉えます。 ・虚構性を通して、人間とは何であるかについて考えを深めます。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論2 相手依存の自己規定	・日本人は、自分が何であるかという自己同一性の確認を他者を基準にして行う傾向が強いということについて学びます。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	◎	-	○
2学期 中間	詩歌 見えない季節 他	・近現代詩の鑑賞の仕方を学びます。 ・作品独自の表現などに注意して、内容を理解します。 ・建築を通して、表象と存在について考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論3 おじいさんのランプ	・現代における情報化の進行をふまえて、本、言葉、情報と人間の関係について考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	-	◎	-	○
2学期 末	小説2 ころ	・小説を読み、登場人物・情景・心理などの描写を的確に捉えて味わいます。 ・人生への関心を深め、自己の形成に資するようにします。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論4 「である」ことと「する」こと	・出生や家柄によって決まる「である」論理から、その人の業績が価値を決める「する」価値への移行を提言する文章を読解します。 ・日本の近代化を学ぶうえで欠かせない考え方を理解します。 ・小テスト、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	◎	-	-	○
学年 末	評論4 人間の運命と科学	・人間の認知や欲望を規定する認知的バイアスは、短期的な競争に勝ち抜くという選択肢の下で進化したのがゆえに、人間の長期的な存続を妨げる可能性があることについて学びます。 ・小テスト、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	◎	-	-	○
	小説3 蠅	・硬質で輝きに満ちた文体が描き出す鮮烈なイメージのあふれる小説を読解する中で、内容や表現についてさまざまな観点から議論します。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論5 日本人の美意識	・日本人は、弱くて小さいものに美的感情を刺激され、それを「うつくし」と表現したこと理解し、美術論や日本文化論について考えます。 ・小テスト、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	-	-	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 話す・聞く能力	行動の観察、発表、プレゼンテーション	10
③ 書く能力	課題プリント、レポート、定期考査	20
④ 読む能力	課題プリント、定期考査	20
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 古典B (第一学習社)		
副教材等	高等学校 改訂版 古典B学習課題集 (第一学習社)				

学習の目標	1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てます。 2 古典に親しむことで言語感覚を豊かにし、文化を理解する力を養います。
学習の方法	・予習では、ノートに本文、文法、口語訳などを記入しておきます。また、音読をしましょう。 ・授業中は、口語訳や文法の確認を中心に行います。しっかり聞いて、予習の段階で分からなかったところを確認しましょう。 ・復習では、学習課題集を解いて、学習した内容を定着させましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1学期 中間	古文(説話)	・筆者が主張している内容について整理します。 ・登場人物の心情や人物像を、表現に即して考えます。 ・庶民性や平俗性といった特色を理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文(故事・寓話)	・登場人物の心情を理解します。 ・漢文に頻出する語彙や句法を確認し、現代語訳します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
1学期 末	古文(随筆1)	・中世の無常観を理解し、その背景を考えます。 ・文中の助動詞の意味・用法について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文(古代の史話)	・古代中国の人々の考え方や生き方を読み味わい、自らの考え方をまとめます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、レポート、定期考査	○	—	—	◎	○
2学期 中間	古文(物語1)	・登場人物の関係を、敬語の使われ方から理解します。 ・文中の助詞・助動詞の意味・用法について理解します。 ・物語の特徴を比較し、文学世界を味わいます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、プレゼンテーション、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文(名家の文章)	・句法や頻出の語彙に注意しながら現代語訳します。 ・登場人物の人柄について考察します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
2学期 末	古文(随筆2・物語2)	・随筆から筆者の観察眼と美的感覚を理解します。 ・物語の内容を理解し、古典の世界の理解を深めます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文(項羽と劉邦)	・句法に注意しながら書き下し文・現代語訳をします。 ・人物関係を整理し、それぞれの性格を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト、レポート、定期考査	○	—	—	◎	○
学年 末	古文(日記・物語3)	・本文全体を通して、作者の主張を読み取ります。 ・本文中の敬語について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文(漢詩の鑑賞・思想)	・詩の情景や心情を読み味わいます。 ・各詩の詩型及び押韻を確認します。 ・孔子・孟子・老子が導く「人間像」を考察します。 ・孔子の理想とする政治論について理解する。 ・行動の観察、ノート、小テスト、プレゼンテーション、定期考査	○	—	—	◎	○
	古文(和歌・俳諧)	・時代背景や文化を踏まえて、和歌を読み味わいます。 ・中国の文化との比較を通して理解を深めます。 ・行動の観察、ノート、レポート、小テスト	○	—	—	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、レポート、プレゼンテーション	20
② 話す・聞く能力		—
③ 書く能力		—
④ 読む能力	課題プリント、レポート、発表、定期考査	40
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理B	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	2	教科書	新詳地理B (帝国書院)、新詳高等地図 (帝国書院)		
副教材等	新詳地理資料COMPLETE 2022 (帝国書院)、地理ワークブック2022(愛媛県高教研地理歴史・公民部会地理部門)				

学習の目標	地理では、現代世界の抱えている諸問題を、身近なところから世界的規模にまで 空間的な広がり のなかで捉えて、系統地理的な方法と、地誌的な方法の二つの方法を使いながら考えていきます。
学習の方法	地図帳や作業地図・白地図などを活用して、自然環境、農業、鉱工業などの特徴や分布状況を空間 的な広がりの中で捉えていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段から様々な問題に興味・ 関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1部 さまざまな地図と地理的技術 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査	・地図の種類や時差の求め方、地形図の活用と地域調査について学習します。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	◎	○
	第2部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 1節 世界の地形	・世界の地形について、大地形、小地形の分布や成因を考察し、災害と恩恵など人間生活との関係を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
1 学期 末	2節 世界の気候	・世界の気候について、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
	2節 世界の気候	・世界の気候について、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 中間	3節 日本の自然の特徴と人々の生活	・日本の生活について、地形や気候との関係や日本における自然災害の特徴を理解し、今後の防災のあり方を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	-
	4節 環境問題	・地球温暖化、森林破壊、砂漠化などの環境問題を扱います。また、日本の環境問題の特徴と対策について考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	-
	2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業	・現代世界の農林水産業の現状と課題、世界のなかでの日本の農林水産業が抱える課題を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
2 学期 末	2節 食料問題	・世界の食料供給の地域的な偏りを大観し、発展途上国、先進国、日本についての事例を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	-
	3節 世界のエネルギー・鉱産資源	・エネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布について学習します。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	○	◎
3 学期	4節 資源・エネルギー問題	・現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、資源をめぐる問題について考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
	5節 世界の工業	・工業の発達や立地、世界の工業地域について学習し、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
	6節 第3次産業	・現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特色について学習します。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
			○	◎	○	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、学習プリント、作業プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用の技能	発表、定期考査	10
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)		
副教材等	本質が見えてくる最新現代社会資料集新版(第一学習社)、現代社会ワークブック2022(愛媛県高教研地理歴史・公民部会公民部門)				

学習の目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間について理解し、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用しながら学習内容の定着を図ります。 ・意欲・関心を持って取り組み、復習を怠らないようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	私たちの生きる社会	・現代社会における諸課題を通して、幸福、正義、公正などについて理解するとともに、現代社会について関心を高めます。 ・ノート整理、レポート、定期考査	◎	○	○	○
	第1章 現代に生きる青年	・青年期の意義を理解し、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら、自己形成の課題について考えます。 ・ノート整理、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	○	◎
1 学期 末	第2章 個人の尊重と法の支配	・日本国憲法と関連しながら、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等について考えます。 ・ノート整理、定期考査	○	○	—	◎
	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深め、政治参加の重要性について考えます。 ・ノート整理、レポート、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	○
2 学期 中間	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深め、政治参加の重要性について考えます。 ・ノート整理、レポート、定期考査	○	◎	○	○
	第4章 国際政治の動向と日本の役割	・国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解します。 ・ノート整理、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 末	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	・現代の経済社会の変容に触れながら、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考えます。 ・ノート整理、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	○	◎
	第6章 国際経済の動向と日本の役割	・グローバル化が進展する国際社会における国際経済の動向について理解します。 ・ノート整理、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	○
3 学期	第6章 国際経済の動向と日本の役割	・グローバル化が進展する国際社会における国際経済の動向について理解します。 ・ノート整理、定期考査	○	◎	○	○
	第7章 現代に生きる倫理	・個人と社会の関係に着目し、社会を構成する個人の生き方の選択が社会全体の課題にどのように関連しているか考えます。 ・ノート整理、定期考査、パフォーマンステスト	○	◎	○	○
	ともに生きる社会をめざして	・持続可能な社会の形成に参画するという観点から、課題を探究する活動を通して、人間としての在り方生き方を考えます。 ・ノート整理、レポート、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	—

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、ノート整理、ポートフォリオ評価	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査、レポート	20
③ 資料活用 of 技能	発表、定期考査、パフォーマンステスト	20
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	2	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。 2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。
学習の方法	・体づくり運動、球技・武道(選択)、陸上競技を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育みます。 ・体育理論では、運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	
1 学期	体づくり運動	・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動の観察	○	○	◎	
	選択1(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○	
2 学期	体づくり運動	・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動の観察	○	○	◎	
	選択2(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○	
	体育理論	・運動やスポーツを行うことで、大きな達成感や喜びを味わい、心や体を健康にすることを学びます。 ・小テスト、行動の観察	◎	○	○	
3 学期	陸上競技(長距離走)	・長距離を走るにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペースの配分をしたり、ペースの変化に対応したりするなど主体的に取り組むことができるようにします。 ・記録計測	◎	○	○	
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○	
	体育理論	・運動の合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学びます。 ・小テスト、行動の観察	◎	○	○	

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識及び技能	行動の観察、パフォーマンステスト、実技、記録計測	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、各先生の評価プリント、発表、小テスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、各先生の評価プリント	30

令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	3	教科書	Revised ELEMENT English Communication II (啓林館)		
副教材等	Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)、ターゲット1900 (旺文社)				

学習の目標	1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想や意見を、英語で話し合える理解と表現力を習得します。 3 より高度な構文や文法を習得し、語彙を増やします。GTEC Advanced 700点以上を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の文章を読んでおくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるよう、音読と大まかな内容把握をした上で授業に臨みましょう。自分の力で取り組む習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや英語で自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 1 Beyond Words	・非音声的言語とは何かや非音声的言語の種類、非音声的言語が文化によって異なることについて学びます。 ・助動詞＋完了形、受動態の動名詞、付帯状況を表す with A B ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	○	◎	○
	Lesson 2 Stay Hungry, Stay Foolish	・スティーブ・ジョブズが半生で得た教訓について学びます。 ・複合関係詞、S＋V (be動詞)＋C (that節)、be動詞＋to不定詞 ・言語活動への参加状況、発表、定期考査、パフォーマンステスト	○	◎	○	○
1 学期 末	Lesson 3 A Teenager To Change the World	・ジャック・アンドレイカの研究や成功の理由について学びます。 ・動名詞の意味上の主語、疑問詞＋do you think＋(S')＋V'?, 未来進行形 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
	Lesson 4 Life in a Jar	・イレーナ・センドラーがユダヤ人のために行ったことについて学びます。 ・完了形の受動態、さまざまな分詞構文 ・言語活動への参加状況、発表、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	◎	○
2 学期 中間	Lesson 5 Space Debris	・宇宙ごみが引き起こす問題や、その解決のために行われている取組について学びます。 ・接続詞＋分詞、二重否定、部分否定 ・言語活動への参加状況、発表、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	◎	○
	Lesson 6 Caddy for Life	・ブルース・エドワーズとトム・ワトソンの関係や、ブルースの病気に対する立ち向かい方について学びます。 ・独立分詞構文、関係副詞の非限定用法 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 末	Lesson 7 iPS Cells	・山中博士によるiPS細胞の研究について、また激化する再生医療分野での競争について学びます。 ・不定詞の意味上の主語、ifを省略した仮定法、同格のthat ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	○	◎	○
	Lesson 8 Selective Breeding	・犬と人間とのかかわりと、人間による犬の品種改良がもたらした結果について学びます。 ・仮定法の慣用表現、完了形の動名詞、強調構文 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
3 学期	Lesson 9 The Vancouver Asahi	・1800年代後半から太平洋戦争時のカナダにおける日系人の状況と、日系人野球チーム朝日の活躍について学びます。 ・whatを用いた強調、無生物主語、倒置 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
	Lesson 10 Euglena	・ミドリムシとはどのような生物か、またその研究に情熱を注いだ出雲さんと、ミドリムシ活用の可能性について学びます。 ・複合関係詞however、if節に相当する表現、未来完了形 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	○	◎	○
	Further Reading 2 Momo	・名作ファンタジーを読んでみましょう。 ・モモと街の住民たちと灰色の男たちの攻防について読み取ります。	○	○	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト	20
② 外国語表現の能力	発表、パフォーマンステスト、定期考査	30
③ 外国語理解の能力	発表、パフォーマンステスト、定期考査、小テスト	30
④ 言語や文化についての知識・理解	発表、定期考査、小テスト	20

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	2	教科書	Revised Vision Quest English ExpressionⅡ Ace (啓林館)		
副教材等	Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 より高度な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを効果的に表現できる英語力を身に付けます。 3 GTEC Advanced 700点以上を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の練習問題などを解答しておくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるよう、自分の力で解答する習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	[Part 1] Lesson 1 お花見 Lesson 2 漫画の楽しみ Lesson 3 京都へ観光に Lesson 4 私の家族です	・主語について学習します。 ・主語の決定/主語の決定/見えない主語の発見/主語のit/主語になる名詞句/形式主語/無生物主語 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
	Lesson 5 保育園での授業体験 Lesson 6 サプライズパーティー Lesson 7 映画のお誘い Lesson 8 航空管制官になる	・動詞や文型について学習します。 ・自動詞と他動詞/間違えやすい自動詞と他動詞/詳動詞/SVO/SVOO ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○
	Lesson 9 趣味はピアノ Lesson 10 『タイタニック』を見て Lesson 11 世界遺産の魅力 Lesson 12 ボランティア活動	・動詞の語法や態について学習します。 ・「～した」/「～していた」/能動態と受動態/日本語との違い ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
2 学期 期末	Lesson 13 制限に賛成?反対? Lesson 14 ローマの魅力 Lesson 15 思い出の写真 Lesson 16 科学技術の利用	・法や助動詞について学習します。 ・「もし(今)～ならば」/「もし(あの時)～だったなら」/義務・必要を表す助動詞/推量を表す助動詞 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○
	Lesson 17 携帯電話は便利だけど... Lesson 18 犬派?猫派? Lesson 19 思い出深いプレゼント Lesson 20 インターネットの問題点	・副詞(副詞節)や比較について学習します。 ・副詞節①・②/原級/比較級 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
3 学期		・比較や否定について学習します。 ・最上級/最上級を意味する表現/no+名詞, no-で始まる代名詞/部分否定/準否定 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト	20
② 外国語表現の能力	定期考査、パフォーマンステスト	50
③ 外国語理解の能力		30
④ 言語や文化についての知識・理解	言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	理数	科目	理数数学Ⅱ・理数数学特論	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	6	教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ (数研出版) ・ 改訂版 高等学校 数学B (数研出版)		
副教材等	改訂版 教科書傍用 サクシード 数学Ⅱ+B (数研出版)、増補改訂版 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B (数研出版)				

学習の目標	自然現象や社会現象を考察するのに欠かせない概念や基礎的な知識を学び、事象を数学的に深く考察し処理する能力を伸ばします。そして、それを積極的に活用していく態度を育てます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と並行して、教科書傍用問題集「サクシード」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力してください。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の乗法・除法及び分式の四則計算について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	—	○	◎
	第2節 等式・不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> ・等式や不等式が成り立つことの証明について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	<ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲を複素数まで拡張し、二次方程式を解くことについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	—	◎	○
	第2節 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・因数分解を利用して高次方程式を解くことについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	<ul style="list-style-type: none"> ・座標や式を用いて直線の方程式などについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	—	—	◎
	第2節 円	<ul style="list-style-type: none"> ・座標や式を用いて円の方程式などについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○	○
1 学期 末	第3節 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の性質や関係を数学的に表現することについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○	○
	数学B 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの基本的な概念について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	—	○	◎
	第2節 ベクトルと平面図形	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの平面図形への応用について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> ・角の概念を一般角まで拡張して三角関数について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	—	—	◎
2 学期 中間	第2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の加法定理について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○	○
	数学Ⅱ 第5章 指数・対数 第1節 指数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・指数関数について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	—	○	◎
	第2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・対数関数について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	○	◎
	数学B 第2章 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの空間図形への応用について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	—	◎	○
	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・微分の考えについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	—	○	◎
	第2節 関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の増減と極大・極小について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
3 学期	第3節 積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・積分の考えについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○	○
	数学B 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列	<ul style="list-style-type: none"> ・等差数列と等比数列について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	—	○	◎
	第2節 いろいろな数列	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな数列について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	第3節 数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・漸化式と数学的帰納法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	○	○
	[発展] 分数関数・無理関数	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な内容を学習します。 ・課題プリント、ノート 	○	◎	—	—

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	取組状況観察、振り返り、発表、課題プリント、ノート	10
② 数学的な見方や考え方	取組状況観察、発表、ノート、小テスト、定期考査	30
③ 数学的な技能	板書の整理状況、ノート、小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	定期考査、小テスト、課題プリント	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	理 数	科目	理数物理	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	4	教科書	改訂版 物理基礎 (数研出版)	改訂版 物理 (数研出版)	
副教材等	物理基礎問題集 (高教研理科部会)		物理基礎・物理実験ノート (高教研理科部会)	セミナー物理基礎+物理 (第一学習社)	

学習の目標	1 物理的な事象・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験を行い、物理学的に探究する能力と態度を養います。 3 物理学の基本的な概念や原理・法則の系統的理解を深め、科学的な自然観を育成します。
学習の方法	・身近な物理現象を話題に取り上げたり、観察、実験などの体験的な活動を行ったりしながら、物理学における基本的な概念や原理・法則が、実感を伴って理解できるように授業を進めます。 ・知的好奇心と、知識・理解を活用しながら探究する姿勢を維持し、演習問題に取り組みましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則	<ul style="list-style-type: none"> 物体の運動の基本的な表し方を学びながら、等速直線運動や等加速度直線運動、落体の運動について学習します。 運動の三法則を理解して、物体に働く力を図示すること、運動方程式や力のつりあいについての式を作れるよう学習します。 課題、発表、行動の観察、定期考査 	○	-	○	◎
	第3章 仕事と力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 仕事についての知識を基礎とし、運動エネルギーと位置エネルギーや力学的エネルギー保存の法則について学習します。 課題、発表、行動の観察、定期考査 	○	-	○	◎
1 学期 末	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 原子や分子の熱運動というミクロ的な視点から、熱と温度について学び、熱の移動や熱と仕事の交換についても学習します。 課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査 	○	◎	-	○
	第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音	<ul style="list-style-type: none"> 波の性質を理解するために、波に関する物理量の概念の形成を重視しながら、作図やシミュレーションを用いて学習します。 音波の性質を理解し、気柱の共鳴や弦の振動の探究活動を通して、知識・理解を活用する能力や態度を養います。 課題、発表、行動の観察、定期考査 	○	◎	○	○
2 学期 中間	第4編 電気 第1章 物質と電気 第2章 磁場と交流	<ul style="list-style-type: none"> オームの法則やジュールの法則、物質によって抵抗率が異なること、電力量や電力について学習します。 交流の発生や送電の仕組みをモデルを利用して学習します。また、電磁波の性質とその利用について体験的に学びます。 課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査 	○	○	-	◎
	第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーの利用 第2章 物理学が拓く世界	<ul style="list-style-type: none"> 水力、化石燃料、原子力、太陽光などのエネルギー資源の特性や利用について、学習します。 物理基礎での既習事項が、日常生活や科学技術と結び付きを理解できるように調べ学習を行います。 課題、発表、行動の観察 	○	○	-	◎
2 学期 末	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 第2章 剛体	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルに関する知識・理解を活用して、水平投射や斜方投射について学習します。 身近な生活における物体について、力のつり合いと力のモーメントのつりあいについて学習します。 課題、発表、行動の観察、定期考査 	○	○	-	◎
	第3章 運動量の保存 第4章 円運動と万有引力	<ul style="list-style-type: none"> 運動量と力積の関係、衝突や分裂における運動量の保存、衝突におけるはね返りについて、実験を通して学習します。 円運動や単振動について学習します。惑星の運動に関する法則や万有引力の法則についても学習します。 課題、発表、行動の観察、定期考査 	○	○	-	◎
3 学期	第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化	<ul style="list-style-type: none"> 気体分子の運動論に基づき、理想気体の状態方程式、気体の内部エネルギー、熱力学の第一法則などを学習します。 課題、発表、行動の観察、定期考査 	○	◎	-	○
	第3編 波 第1章 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方	<ul style="list-style-type: none"> 波の伝わり方とその表し方についての理解を基にして、波の干渉と回折について学習します。 作図やシミュレーションを用いて、音の干渉と回折、音のドップラー効果について学習します。 課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査 	○	◎	-	○
	第3章 光	<ul style="list-style-type: none"> 光の伝わり方や、光の回折と干渉による様々な現象について、その原理を学習します。 課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査 	○	○	○	◎

- (備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト	20
② 思考・判断・表現	課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	20
③ 技能	課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	20
④ 知識・理解	課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	理数化学	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	3	教科書	化学 新訂版 (実教出版)		
副教材等	化学基礎・化学実験ノート (高教研理科部会化学部門)、サイエンスビュー化学総合資料四訂版 (実教出版)				

学習の目標	自然の事物・現象に関することを題材にして、基本的な概念、原理、法則の習得を目指します。また、実験や観察を通して、科学的な自然観を身に付け、現代社会をより広い視野でとらえることが目標です。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・化学基礎で学習した内容を発展させるため、物質量の計算などについてよく復習してください。 ・原子の構造や化学結合など目で見えない領域も取り扱うので、イメージ力を大切にしてください。 ・無機物質や有機化合物については、特徴と実験をよく関連付けて整理してください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第2編 物質の変化 第2章 電池と電気分解	<ul style="list-style-type: none"> ・電池の化学反応を復習し、続いて電気分解のしくみを実験によって理解します。また、量的関係、工業的な利用法を学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、実験ノート、観察・実験の観察、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	第1編 物質の状態 第1章 粒子の結合と結晶の構造 第2章 物質の三態と状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ・物質が連続性を持たない小さな粒子からなること、個々の粒子がどのようなしくみで結合しているかを学習します。 ・物質の状態変化には熱の出入りによる粒子の熱運動がもとになっていることを学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査 	○	◎	-	○
1 学期 末	第3章 気体	<ul style="list-style-type: none"> ・気体の体積は、圧力や温度によって大きく変化することを学習します。また、気体の性質を利用して分子量を求める実験とともにその関係を理解し、計算方法を体得します。 ・実験ノート、観察・実験の観察、課題プリント、小テスト 	○	○	◎	○
2 学期 中間	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化や状態変化による熱の出入りが意味することをエネルギーの観点から考え、また、未知の熱量を計算によって求める方法を実験により学習します。 	○	○	◎	○
	第3編 無機物質 第1章 非金属元素	<ul style="list-style-type: none"> ・金属元素は非金属元素とは大きく性質が異なる点に着目して学習し、実験で確認します。 ・実験ノート、観察・実験の観察、課題プリント、小テスト 	○	○	◎	○
2 学期 末	第2章 金属元素(I) 第3章 金属元素(II)	<ul style="list-style-type: none"> ・金属元素は非金属元素とは大きく性質が異なる点に着目して学習し、実験で確認します。 ・遷移元素は、たがいに性質がある程度似通っているので、族の分類と関係なく学ぶほうが現実的です。身近な元素を中心に、単体や化合物、イオンなど特徴的な性質を学習します。 ・実験ノート、観察・実験の観察、小テスト、定期考査 	○	-	○	◎
	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の特徴を理解し、官能基の種類を学びます。また、定量的な元素分析について演習を通して理解します。 ・命名法や個々の物質の性質はもとより、分子の構造に基づく有機化合物の考え方を把握します。 ・実験ノート、観察・実験の観察、定期考査、小テスト 	○	○	○	◎
3 学期	第3章 アルコールと関連化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素を含む有機化合物の代表として、アルコール、エーテル、カルボン酸、エステルなどの特徴的な性質を学びます。 ・実験ノート、観察・実験の観察、定期考査、小テスト、課題プリント 	○	○	○	◎
	第4章 芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香族炭化水素の種類と命名法、立体構造や性質を理解します。また、薬の成分などを化学を通して学びます。 ・実験ノート、観察・実験の観察、定期考査、小テスト 	○	○	○	◎

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	発表、定期考査	20
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート	20
④ 知識・理解	実験ノート、課題プリント、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	理数生物	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	2	教科書	改訂版 生物 (数研出版)		
副教材等	生物実験ノート・問題集 (愛媛県高等学校教育研究会理科部門会編) ・九訂版スクエア最新図説生物neo(第一学習社) ・セミナー生物 (第一学習社)				

学習の目標	1 実験・観察を通して生物における様々な生命現象の共通性と多様性について理解します。 2 実験・観察を通して実験方法や観察方法、考察の仕方などの技術を習得し、自らが探究していく能力を高めていきます。
学習の方法	・「生物」の教科書や資料集等を用いて、生命現象のしくみを理解することが大切です。また、問題集を繰り返し解くことで、知識を定着させることも大切です。 ・観察・実験では、結果に対して、なぜそうなるのかを深く思考し、考察することを心掛けてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 細胞と分子	・タンパク質分子の構造や細胞内部の微細構造をはじめ、細胞を構成する様々な分子のはたらきについて学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、授業ノート、定期考査	○	○	-	◎
		・代謝の代表的な例である呼吸や光合成のしくみをエネルギー変換の観点から学習します。 ・課題プリント、発表、観察・実験の観察、授業ノート、定期考査	○	○	◎	○
1 学期 末	第2章 代謝	・タンパク質の構成成分であるアミノ酸などの、窒素を含む化合物を合成する過程について学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、授業ノート、定期考査	○	○	-	◎
		・遺伝情報の発現とその調節のしくみ、遺伝情報の変化による形質への影響とゲノムの多様性について学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、授業ノート、定期考査	○	○	-	◎
2 学期 中間	第3章 遺伝情報の発現	・発展著しい遺伝子を扱った技術についても学習します。 ・課題プリント、発表、観察・実験の観察、授業ノート、定期考査	○	○	○	◎
		・無性生殖と有性生殖の違い、減数分裂のしくみと意義について学習します。 ・課題プリント、発表、観察・実験の観察、授業ノート、定期考査	○	○	◎	○
2 学期 末	第4章 生殖と発生	・生殖によって多様な遺伝的組み合わせが生じるしくみについて学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、授業ノート、定期考査	○	○	-	◎
		・生物の初期発生の過程について、ウニの受精の観察を通じて学習します。 ・課題プリント、発表、観察・実験の観察、授業ノート、定期考査	○	○	◎	○
3 学期	第4章 生殖と発生	・生物の初期発生で見られる細胞間の相互作用、その過程で発現する遺伝子とその発現を調節する物質について学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、授業ノート、定期考査	○	○	-	◎
		・植物の初期発生の過程について、植物の生活環境や陸上進出の過程と合わせて学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、授業ノート、定期考査	○	○	-	◎

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	発表(パフォーマンス評価)、定期考査	30
③ 技能	観察・実験の観察、実験ノート、授業ノート(ポートフォリオ評価)	20
④ 知識・理解	課題プリント、実験ノート、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	SS	科目	RSII	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	2	教科書			
副教材等	理科課題研究ガイドブック～どうやって進めるか、どうやってまとめるか～（千葉大学先進科学センター）				

学習の目標	<p>1 地域の自然環境や文化・歴史、産業や医療・福祉などを主題とした課題研究に取り組み、資料の収集、現地実習、実験・観察などの体験的な活動を通して得られた情報を分析・考察しながら、科学的に探究する能力や態度を身に付けます。</p> <p>2 課題研究の成果を、論文やスライド、ポスターにまとめ、プレゼンテーションを行う経験を通して、情報を発信するための技能を高め、豊かな表現力を醸成します。</p>
学習の方法	<p>・地域や身近にある素材を主題にして課題研究を進めます。担当教員からの助言やインターネット等から得た情報を参考にしながら、主題の決定から調査方法、成果報告まで、生徒が主体となって探究活動を展開します。</p> <p>・地域や身近にある素材を課題研究の対象として捉え、知的好奇心を持って探究できるよう、また、情報をうまく伝えるためのスキルを身に付けることができるよう、出張講義や発表会の機会が多く設定されています。</p>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	SSHオリエンテーション 昨年度の課題研究の紹介 講座分岐説明会 講座希望調査 研究班編成 研究テーマの設定 文献検索・先行研究の調査	<ul style="list-style-type: none"> 「理科課題研究ガイドブック」を用いて課題研究の取り組み方について説明を受けたり、過年度の課題研究のうち優秀な作品を紹介されたりするなど、課題研究を進めていくために必要となる具体的なイメージを持つようにします。 基礎理工講座、生命環境講座、総合科学講座に分かれ、各講座において具体的な研究テーマを例示しながら、研究班の編成を行います。 研究テーマを設定するにあたり、地域や身近にある素材を課題研究の主題として取り上げることや、課題研究の質を高めることを期待して継続研究を奨励することを伝え、文献検索・先行研究の調査を十分に行ったうえで、研究テーマを設定します。 ポートフォリオ評価、発表、行動の観察 	○	○	-	○
	出張講義「科学実験入門」 物理系「放射性崩壊に伴う統計誤差の取扱いについて」／生物系「生物学的領域の研究における統計処理の基本」	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究の質を高める方策として、フィールドワークや観察・実験を通して得られるデータの処理において、統計処理を極めることが求められ、そのスキルを学びます。 レポート、ポートフォリオ評価、発表、行動の観察 	○	◎	○	○
	研究計画 課題研究	<ul style="list-style-type: none"> 各班が設定した研究テーマについて、研究計画に従って、フィールドワークや観察・実験等によるデータの収集とその分析・考察、研究のまとめを行っていきます。 ポートフォリオ評価、行動の観察 	○	○	◎	○
2 学期	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> 各班が設定した研究テーマについて、研究計画に従って、フィールドワークや観察・実験等によるデータの収集とその分析・考察、研究のまとめを行っていきます。 ポートフォリオ評価、行動の観察 	○	○	◎	○
	課題研究中間発表会	<ul style="list-style-type: none"> 11月中旬までの課題研究の成果をポスターにまとめて発表します。その発表内容に対して校外の専門家から指導助言を受け、今後の研究の方針等に改善を加えていきます。 ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、発表、行動の観察 	○	◎	○	○
	SSH講演会	<ul style="list-style-type: none"> 講演内容を踏まえてレポートを作成します。研究者・技術者に求められる心構えを理解したり、最先端研究に関する知見を広げたりするなど、自らの進路実現・自己実現について考えを深めるとともに、課題研究に取り組む意義について考えます。 レポート 	○	◎	-	○
	論文作成	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究の成果を論文にまとめます。 ポートフォリオ評価、行動の観察、論文 	○	○	○	◎
3 学期	論文作成 プレゼンテーションの準備	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究の成果を論文とプレゼンテーションに用いるスライドにまとめます。規定の時間内でプレゼンテーションできるよう口頭発表の準備も行います。 ポートフォリオ評価、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド 	○	○	○	◎
	課題研究講座内発表会 SSH研究成果報告会	<ul style="list-style-type: none"> 講座内発表会において口頭発表を行います。さらに、SSH研究成果報告会においてステージ発表またはポスター発表を行います。 ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド 	○	◎	○	○
	まとめ、自己評価 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究の取り組みや成果について、自己評価を行い、今後の課題について話し合います。 ポートフォリオ評価、レポート 	◎	○	-	○

(備考) 定期考査は実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	30
② 思考・判断・表現	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	35
③ 技能	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	15
④ 知識・理解	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	20

令和4年度 シラバス

教科	SS	科目	RS探究 I	学年 学科 類型	2年 理数科
単位数	1	教科書			
副教材等					

学習の目標	科学技術や医療に関する倫理観を醸成したり、国際性の育成に向けて英語の知識や実践的な技能の習得を目指したり、高大接続を意識した数学の知識・理解を定着させよう努めたりするなど、あらゆる学習活動を通して、主体的に問題解決に向かう態度を養うとともに、科学技術系人材に求められる素養や実践力を身に付けます。
学習の方法	・1学期には生命倫理講座、2学期には科学英語講座、3学期には数学探究講座を実施します。 ・プレゼンテーションやディスカッションを伴うアクティブ・ラーニングの授業形態のほか、高大接続を意識した学習内容を取り扱う授業、留学生を交えて活動するグループワーク、地域医療の従事者による出張講義など、多様な授業形態を採用します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 生命倫理講座 (1) 出生をめぐる生命倫理 (2) 組換えDNA実験技術 (3) グローバルエシックス (4) 医療現場の倫理 (5) 地域医療の課題 (6) DVD視聴「診療所医師」 (7) 地域医療の従事者による出張講義	・生命倫理や医療倫理に焦点を当て、さらに、科学技術や生命科学の研究において重視される研究倫理にまで触れ、ディベートやディスカッションを交えながら学習を進めていきます。幅広く、また、多角的に学ぶことによって、望ましい倫理観や問題解決に向けた主体的な態度を養います。科学技術系人材や医療従事者に求められる資質や能力について深く探究していきます。 ・ポートフォリオ評価、授業プリント、レポート、発表、行動の観察、小テスト	○	○	○	◎
2 学期	2 科学英語講座 (1) 英語でのディスカッションに慣れる (2) 英語によるプレゼンテーション (3) 英語による質疑応答 (4) 効果的なアイスブレイク (5) 留学生とのグループワーク	・他者の発表で見たり聞いたりしたことを、英語でまとめて伝えることができるように、段階的に習得していきます。留学生との科学交流を通して、科学技術について国際舞台で話し合うための実践的なスキルを身に付けます。 ・ポートフォリオ評価、授業プリント、レポート、パフォーマンステスト、行動の観察	○	◎	○	○
3 学期	3 数学探究講座 (1) 研究課題レポートの作成 (2) 確率分布(期待値、分散、標準偏差、二項分布、正規分布など) (3) 標本調査と検定 (4) 英語を使った数学の学習	・研究課題レポートでは、日常生活と数学のつながりを感じさせる事例や教材を利用して、数学の魅力や有用性について考えます。 ・確率分布や標本調査と検定では、統計処理の基本から応用まで学習します。 ・英語での数式の読み方など、基本事項を習得します。 ・ポートフォリオ評価、レポート、発表、行動の観察、パフォーマンステスト、定期考査	○	○	○	◎

(備考) 定期考査は、学年末考査のみとする。

評価の観点と方法

【生命倫理講座】

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	ポートフォリオ評価、授業プリント、レポート、発表、行動の観察	10
② 思考・判断・表現	ポートフォリオ評価、授業プリント、レポート、発表、行動の観察、小テスト	20
③ 技能	ポートフォリオ評価、授業プリント、レポート、発表、行動の観察、小テスト	20
④ 知識・理解	ポートフォリオ評価、授業プリント、レポート、発表、行動の観察、小テスト	50

【科学英語講座】

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ポートフォリオ評価、授業プリント、レポート、パフォーマンステスト、行動の観察	30
② 外国語表現の能力	ポートフォリオ評価、授業プリント、レポート、パフォーマンステスト、行動の観察	30
③ 外国語理解の能力	ポートフォリオ評価、授業プリント、レポート、パフォーマンステスト、行動の観察	10
④ 言語や文化についての知識・理解	ポートフォリオ評価、授業プリント、レポート、パフォーマンステスト、行動の観察	30

【数学探究講座】

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	ポートフォリオ評価、レポート、発表、行動の観察、パフォーマンステスト	20
② 思考・判断・表現	ポートフォリオ評価、レポート、発表、行動の観察、パフォーマンステスト、定期考査	20
③ 技能	ポートフォリオ評価、レポート、発表、行動の観察、パフォーマンステスト、定期考査	20
④ 知識・理解	ポートフォリオ評価、レポート、発表、行動の観察、パフォーマンステスト、定期考査	40

(備考) 数学探究講座について、各観点における定期考査の割合は、60～80%程度とする。